



## 安全データシート(SDS)

## Corium Z161 ベルト鳴き止めスプレー

発行日: 2015-12-18

改訂日付: 2016-06-01

バージョン: R0001.0001

## 1. 化学製品および会社情報

## A. 製品名

- Corium Z161 ベルト鳴き止めスプレー

## B. 製品の勧告用途と使用上の制限

- 用途 : ベルト鳴き止めスプレー  
- 使用上の制限 : 所定の用途以外に使用しないこと

## C. 製造業者/供給者/流通業者情報

○ 製造者情報  
- 製造元/供給元 : Corium Industrial Chemicals

○ 供給者/販売者情報  
- 供給元/販売元 : 株式会社ITWパフォーマンスポリマーズ & フルuids ジャパン  
- 住所 : 〒564-0053 大阪府吹田市江の木町30-32  
- 担当部署 : 品質管理部  
- 電話 : 06-6330-7118  
- FAX : 06-6330-7083

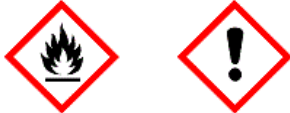
## 2. 危険有害性の要約

## A. GHS分類

- 可燃性エアゾール : 区分1  
- 皮膚感作性 : 区分1  
- 標的臓器/全身毒性 (単回暴露) : 区分3 (麻酔作用)  
- 慢性水生環境有害性 : 区分3

## B. 予防措置文句を含む警告表示項目

○ シンボル



○ 注意喚起語

- 危険

○ 危険有害性情報

- H222 極めて可燃性/引火性の高いエアゾール  
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
- H336 眠気やめまいのおそれ  
- H412 長期的影響により水生生物に有害

○ 注意書き

## 1) 予防

- P210 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。  
- P233 容器を密閉しておくこと。  
- P240 容器を接地すること/アースをとること。  
- P241 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること。  
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。  
- P243 静電気放電に対する予防措置を講ずること。  
- P261 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
- P271 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。  
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
- P273 環境への放出を避けること。  
- P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

## 2) 対応

- P302+P352 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。  
- P303+P361+P353 皮膚 (または髪) に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類をすべて脱ぐこと/取り除くこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。

- P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- P312 気分が悪い時は医師に連絡すること。
- P321 特別な処置が必要である
- P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
- P363 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
- P370+P378 火災の場合：消火に適合の消化剤を使用すること。(SDS5項ご参照)

**3) 保存**

- P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
- P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
- P405 施錠して保管すること。

**4) 廃棄**

- P501 内容物/容器を都道府県/市町村の法令・規則に従って廃棄すること。

**C. 有害・危険性分類基準に含まれてないその他の有害・危険性**

## ○ NFPA等級 (0~4段階)

- 保健 : 0, 火災 : 0, 反応性 : 0

**3. 組成及び成分情報**

- 単一製品・混合物の区別 : 混合物
- 一般名 : ベルト鳴き止めスプレー

化学物質名	慣用名及び異名	CAS No.	官報公示番号	PRTR法	含有量(%)
ブタン	Methylethylmethane	106-97-8	2-4	—	30-40
プロパン	Dimethylmethane	74-98-6	2-3	—	15-25
2-プロパノール	Isopropanol	67-63-0	2-207	—	10-20
ロジン	Colophony	8050-09-7	—	—	5-15
ジメトキシメタン	Dimethoxymethane	109-87-5	2-498	—	1-10

\*GHS危険有害性分類対象物質と日本国内法規制対象物質のみ記載

**4. 応急措置****A. 眼への接触**

- 眼をこすらないこと。
- 大量の水を使用して、少なくとも15分間眼を洗い流すこと。
- 直ちに医師の治療を受けること。

**B. 皮膚に付着した場合**

- 直ちに医師の治療を受けること。

**C. 吸入毒性**

- 多量の蒸気やミストに曝露された場合、直ちに新鮮な空気のある場所に移すこと。
- 必要に応じて適切な措置をとること。
- 直ちに医師の治療を受けること。

**D. 飲み込んだ場合**

- 嘔吐をすべきかどうかについては医師の助言を取ること。
- 直ちに水で口をすすぐこと。
- 直ちに医師の治療を受けること。

**E. 急性および遅延性の主な症状/影響**

- データなし

**F. 応急処置および医師の注意事項**

- データなし

**5. 火災時の措置****A. 消火剤**

- 炭酸ガス、ドライケミカル、耐アルコール性フォーム

**B. 使ってはならない消火剤**

- 水(炎を拡散する可能性がある)

**C. 特有の危険有害性**

- 消火活動の際には有毒ガスが発生するので、煙を吸入しないように注意する。

#### D. 特定の消化方法

- 適切な保護具を着用する。防護服を着用していない人を作業場から遠ざける。可燃性のものを周囲から素早く取り除く。爆発のリスクを最小限にする為、霧状の水を使用して容器を冷却する。

#### E. 消化を行う者の保護

- 空気呼吸器を含め、必要に応じて適切な保護具(耐熱性)を着用すること。

### 6. 漏出時の措置

#### A. 人体を保護するために必要な注意事項

- 作業者は適切な保護具("8. 暴露防止及び保護措置"の項参照)を着用して、眼、皮膚への接触や吸入を避けること。
- 密閉された空間に出入りする前に、換気を実施すること。
- 漏出し物質に触れないこと。作業者が危険なく漏れを停止させることができれば停止すること。
- 漏出区域から安全な区域に容器を移動すること。
- 皮膚との接触、吸入を避けること。

#### B. 環境に対する注意事項

- 漏出物が下水施設、水系に流入しないようにすること。

#### C. 浄化方法

- 大量漏出の場合、低い領域を避け、風上に止まること。後日処理のために堤防を築造して管理すること。
- 基準量以上排出時、中央政府、地方公共団体の排出の内容を通知すること。
- 廃棄物管理法(環境省)により処理すること。
- 漏出物質廃棄のため、適切な容器に回収すること。
- プラスチック容器を使用しないこと。

### 7. 取扱い及び保管上の注意

#### A. 安全な取り扱いのための注意事項

- 容器が空になった後も製品かす(蒸気、液体、固体)が残ることがあるので、すべてSDS、ラベルの予防措置に従うこと。
- 設備対策と個人保護具
- 未熟練な人は、この化学製品やその化学製品が入った容器を取り扱わないこと。

#### B. 安全保管条件

- 避けるべき物質および条件に注意すること。
- 使用しない場合、密閉しておくこと。
- 火気厳禁
- 密閉容器に入れて回収すること。
- 換気の良い場所で保管すること。

### 8. 暴露防止及び保護措置

#### A. 許可濃度

- 日本許容濃度
  - [2-Propanol] : 400ppm, 980mg/m<sup>3</sup>
  - [Butane] : 500ppm, 1,200mg/m<sup>3</sup>
- ACGIHの暴露標準
  - [Butane] : TWA, 1000 ppm
  - [Propane] : TWA, 1000 ppm
  - [2-Propanol] : TWA, 200 ppm (491 mg/m<sup>3</sup>), STEL, 400 ppm (984 mg/m<sup>3</sup>)
  - [Gum rosin] : SEN
  - [Dimethoxymethane] : TWA, 1000 ppm (3110 mg/m<sup>3</sup>)

#### B. 設備対策

- 作業所はできるだけ自動化し、混合、加熱工程等の設備はできるだけ密閉構造にする。取扱場所の近くに手洗い、洗眼設備等を設け、その位置を明示する。
- 適切な全体換気、局所排気装置を用いること。
- 静電気対策の為、装置等は接地し、電気機器類は防爆型を使用する。

#### C. 個人防護具

- 呼吸保護
  - 使用前に警告の特性を考慮すること。
- 眼の保護

- 作業場の近くに洗眼設備と非常洗浄設備（シャワー式）を設置すること。
- **手の保護**
  - 適切な耐化学性手袋を着用すること。
- **身体の保護**
  - 適切な保護服を着用すること。
- **その他**
  - データなし

## 9. 物理化学的特性

A. 外観	
- 性状	エアゾール
- 色	淡黄色透明
B. 臭い	有機溶剤臭
C. 臭気閾値	データなし
D. pH	データなし
E. 融点/凝固点	データなし
F. 沸点、初留点及び沸騰範囲	<0℃
G. 引火点	<0℃
H. 蒸発速度	データなし
I. 引火性（固体、気体）	データなし
J. 燃焼又は爆発範囲下限/上限	データなし
K. 蒸気圧	データなし
L. 溶解度	データなし
M. 蒸気密度	データなし
N. 比重	0.64
O. 水/n-オクタノール分配係数	データなし
P. 自然発火温度	データなし
Q. 熱分解温度	データなし
R. 粘度	データなし
S. 分子量	データなし

## 10. 安定性及び反応性

### A. 安定性

- 常温・常圧、密閉保管であれば安定

### B. 有害反応の可能性

- ほかの可燃性物質と接触して火災を起こす恐れがある。

### C. 避けるべき条件

- 直射日光、加熱、火源。

### D. 混触危険物質

- 強酸化剤及び強還元剤。

### E. 危険有害な分解生成物

- 燃焼などによりCO等の有害ガスを発生するおそれがある。

## 11. 有害性情報

### A. 暴露の可能性が高いルートに関する情報

- (呼吸器)
  - データなし
- (経口)
  - データなし
- (眼・皮膚)
  - アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ

### B. 有害性

- 急性毒性
  - \* 経口毒性
    - [Butane]: GHSの定義による気体
    - [Propane]: GHSの定義による気体

- [2-Propanol]: ラットLD50 = 5280 mg/kg (EHC(1990)、SIDS(1997))、5500 mg/kg( (EHC(1990)、SIDS(1997)、CERIハザードデータ集(1999))、5480 mg/kg (EHC(1990)、PATTY(1994))、4710 mg/kg (EHC(1990)、PATTY(1994)、SIDS(1997))、1870 mg/kg (CERIハザードデータ集(1999)) があり、それらの統計計算で求めた毒性値は3437 mg/kg となることから、区分5とした。
- [Gum rosin]: ラットLD50値7600,8400,ca.7600mg/kg (IUCLID,2000)に基づき、区分外とした。
- [Dimethoxymethane]: ウサギLD50値: 5700mg/kg (PATTY 4th, 1994)に基づき、区分外とした。

#### \* 経皮毒性

- [Butane]: GHSの定義による気体
- [Propane]: GHSの定義による気体
- [2-Propanol]: ウサギLD50 = 12870 mg/kg (EHC(1990)、PATTY(1994)、SIDS(1997)、CERIハザードデータ集(1999)) および4059 mg/kg (CERIハザードデータ集(1999)) があり、これらの低い方の値から、区分5とした。
- [Gum rosin]: ウサギLD50>2500mg/kgおよびラットLD50=2500mg/kg (IUCLID(2000)) の結果から、JISの分類基準に基づき区分外とした。
- [Dimethoxymethane]: ウサギ致死量: >16mL/kg (換算値: >21654mg/kg) (RTECS, 2005) に基づき、区分外とした。

#### \* 吸入毒性

- [Butane]: ラットLC50 (4時間) 値: 277374ppm (ACGIH (7th, 2001), DFGOT vol.20 (2003), PATTY (4th, 1994), 産衛学会勧告 (1993) ) に基づき、区分外とした。
- [Propane]: モルモットでのLC50 (2時間) 値: >55000ppm (4時間換算値: >38890ppm) (ACGIH 7th, 2001) に基づき、区分外とした。
- [2-Propanol]: ラットLC50 (4時間蒸気暴露) = 72600 mg/m<sup>3</sup>(29512 ppm), EHC(1990)、PATTY(1994)、SIDS(1997)および29620 ppm(72865 mg/m<sup>3</sup>) (CERIハザードデータ集(1999)) に基づき、いずれもミストを含まない蒸気での暴露におけるppm濃度基準値の区分5の範囲を超えていることから、区分外とした。
- [Gum rosin]: ラットLC50 (6時間) 値約1.5mg/L (4時間換算値: 約2.3mg/L) (IUCLID,2000) に基づき、区分4とした。なお、蒸気圧データは無いが、固体であり蒸気圧が<0.1hPa (IUCLID(2000)) と記載されていることから粉塵と判断した。
- [Dimethoxymethane]: マウスLC50 (7時間) 値: 18354ppm (4時間換算値75.407mg/L) (ACGIH 7th, 2001) または約18000ppm (4時間換算値73.953mg/L) (PATTY 4th, 1994) に基づき、蒸気圧からミストをほとんど含まない蒸気と判断し、ppm濃度基準値から区分外とした。

#### ○ 皮膚腐食性/刺激性

- [Propane]: ACGIH(7th, 2001)のヒトでは軽度の紅斑のみが一過性に認められ、皮膚一次刺激性は無視し得る程度であったとの記述から、区分外とした。
- [2-Propanol]: EHC 103 (1990)、PATTY (4th, 1994)、ECETOC TR66 (1995)、CERIハザードデータ集(1999)のウサギ皮膚刺激性試験では、刺激性なしまたは軽度の刺激性の報告があるが、EHC 103 (1990)のヒトでのボランティアおよびアルコール中毒患者の治療のため皮膚適用した試験では刺激性を示さないとの報告から、区分外とした。
- [Gum rosin]: ラットを用いた試験において、軽度の刺激性 (IUCLID(2000)) との情報から、JIS分類基準の区分外 (国連分類基準の区分3) とした。
- [Dimethoxymethane]: 具体的な症例報告はないがICSC(J) (1994)、HSDB (2005)、HSFS (2004)、SITTIG (4th, 2002)の皮膚を刺激するとの記述から、区分2とした。

#### ○ 眼に対する重篤な損傷/刺激性

- [Butane]: データ不足のため分類できない。DFGOT vol.20 (2003)にウサギの眼を刺激しないとの記述があり、ヒトのガス暴露例に眼刺激性は報告されていないが、明確に有害性を否定する記述がないことから、データ不足のため分類できない。
- [2-Propanol]: EHC(1990)、SIDS(1997)、PATTY(1994)、ECETO TR(1992)、CERIハザードデータ集(1999)のウサギでの眼刺激性試験では、軽度から重度の刺激性の報告があるとの記述があるが、重篤な損傷性は記載されていないことから、区分2A-2Bとした。
- [Gum rosin]: ラットを用いた試験において、軽度の刺激性 (IUCLID(2000)) との情報から、区分2Bとした。
- [Dimethoxymethane]: PATTY (4th, 1994)のモルモットの眼に対する刺激性が中等度(moderate)であるとの記述から、区分2Aとした。

#### ○ 呼吸器感受性

- [2-Propanol]: 呼吸器: データなし 皮膚: SIDS(1997)のモルモットでのビューラー法による皮膚感受性試験では陰性であった。一方、EHC(1990)の皮膚炎発症例で2-propanolのパッチテスト陽性例には、低分子の1級または2級アルコール、プロピレンオキシドにも陽性を示しており、2-プロパノールが原因物質か否か明確でないことから、データ不足により分類できないとした。
- [Gum rosin]: ほとんどが職業ばく露の場合であるが、当該物質を含む松やに、はんだ融剤、樹脂酸などを扱う作業者が喘息あるいは喘息様症状を呈した症例報告が数多く出ている((ACGIH(7th,2001))、DFGOTvol.11(1998))。その他に作業に関連した呼吸器症状の訴え((ACGIH(7th,2001))、呼気流量の低下、気管支炎、さらに症状持続や重度の喘息発作が報告され((ACGIH(7th,2001))、症状の発生と程度がばく露レベルに関連していることを示す記述もある((ACGIH(7th,2001)、DFGOTvol.11(1998))。以上の知見に加え、日本産業衛生学会で気道感受性物質の第1群に分類されていること(産衛学会勧告(2008))に基づき区分1とした。

#### ○ 皮膚感受性

- [Gum rosin]: モルモットを用いたマキシマイゼーション試験で陽性結果 (IUCLID(2000)) があること、ヒトで当該物質あるいは当該物質を含む産物に起因するとされるアレルギー性接触皮膚炎の報告が複数ある (ACGIH(7th,2001)、DFGOTvol.11(1998)) こと、さらにEU分類がR43であること (EU-AnnexI(AccessonMay,2009)) に基づき区分1とした。

#### ○ 発がん性

##### \* IARC

- [2-Propanol]: Group 3

##### \* OSHA

- データなし

## \* ACGIH

- [2-Propanol]: A4

## \* NTP

- データなし

## \* EU CLP

- [Butane]: Carc.1A (butane (containing  $\geq 0.1\%$  butadiene (203-450-8)));

## ○ 生殖細胞変異原性

- [Butane]: 細菌を用いる復帰突然変異試験で陰性の結果 (DFGOT vol.20 (2003)、PATTY (4th, 1994)、NTP DB (Access on Oct 2005)) があるが、in vitro試験のデータしかないため分類できなかった。

- [Propane]: in vitro試験のデータのため分類できない。

- [2-Propanol]: SIDS(1997)のin vivoでのマウス骨髄細胞を用いた小核試験で陰性であることから区分外とした。

- [Gum rosin]: マウスに経口投与後の骨髄を用いた小核試験(体細胞in vivo変異原性試験)で陰性結果(栗田年代:平成9年度食品添加物規格基準作成等の試験検査、財団法人残留農薬研究所)に基づき区分外とした。なお、invitro試験では、細菌を用いた復帰突然変異試験と哺乳類培養細胞(CHL/IU)を用いた染色体異常試験の結果が報告されている(既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究平成15年度(H.16))が、いずれも陰性である。

- [Dimethoxymethane]: in vitro試験のデータしかないため分類できない。

## ○ 生殖毒性

- [2-Propanol]: EHC(1990), IARC(2005), PATTY(1994)のラットでの飲水投与による2世代繁殖試験では、繁殖能および出生子の発育に影響なかった。一方、EHC(1990), SIDS(1997), ACGIH(2003)のラットでの発育毒性・催奇形性試験では、催奇形性はなかったが、親動物に体重増加の低下、麻酔作用等の毒性を示した用量で、妊娠率の低下、吸収胚の増加、胎児死亡の増加等の生殖毒性が認められたとの記述から、区分2とした。

## ○ 標的臓器/全身毒性(単回暴露)

- [Butane]: ACGIH (7th, 2001)、DFGOT vol.20 (2003)、PATTY (4th, 1994)および産衛学会勧告(1993)のヒトにおいて高濃度吸入で麻酔作用または中枢神経系抑制を示すとの記述から、麻酔作用があると考え、区分3とした。

- [Propane]: ACGIH(7th, 2001)のヒトへの影響として麻酔作用を示すとの記述から、区分3(麻酔作用)とした。

- [2-Propanol]: PATTY(1994)、ACGIH(2003)のラットでの吸入暴露による活動性の低下があるとの記述、およびACGIH(2003)、CERIハザードデータ集(1999)のヒトでの経口摂取による急性中毒では消化管への刺激性、血圧、体温等の低下、中枢神経症状、腎障害が認められており、標的臓器は中枢神経系、腎臓および全身毒性と判断し、区分1とした。また、ACGIH(2003)のヒトで鼻、喉への刺激性が認められており、気道刺激性があると判断し、区分3とした。

- [Dimethoxymethane]: ACGIH (7th, 2001)のモルモットを用いた吸入暴露試験において麻酔作用が認められたとの記述ならびにヒトで麻酔薬として使用されてきたとの記述、ならびにICSC(J) (1994)、HSDB (2005)、HSFS (2004)、SITTIG (4th, 2002)の気道を刺激するとの記述から、区分3(麻酔作用、気道刺激性)とした。

## ○ 標的臓器/全身毒性(反復暴露)

- [Butane]: DFGOT vol.20 (2003)のラットを用いた反復吸入暴露試験(イソブタンやペンタンとの混合物)で毒性が認められなかったとの記述がある。一方、DFGOT vol.20 (2003)にヒトの麻酔目的での反復吸入暴露例の多くに多幸感および幻覚がみられたとの記述から、中枢神経系に影響する可能性もあるが、他に反復暴露で中枢神経系への影響を示唆するデータはなく、データ不足のため分類できない。

- [2-Propanol]: EHC(1990)のラットでの86日間または4ヵ月間吸入暴露試験で、血管、肝臓、脾臓に影響が認められたとの記述から、標的臓器は血管、肝臓、脾臓であると判断し、区分2とした。なお、区分2のガイダンス値を超える投与量では、腎臓への影響および麻酔作用が認められている。

- [Gum rosin]: ラットに90日間混餌投与により、飼料中濃度0.5% (約239~282mg/kg/day) では、血液あるいは血液化学など一部の検査項目で変化が認められたものの病理組織学的毒性変化はなく、重大な毒性影響の記述はない(既存添加物の安全性の見直しに関する調査研究平成15年度(H.16); 渡辺敦光:平成10年度食品添加物規格基準作成等の試験検査、広島大学)。したがって、本試験の結果から経口投与では区分外に該当するが、他経路のデータがないため「分類できない」とする。

## ○ 吸入有害性

- [Butane]: GHSの定義による気体

- [Propane]: GHSの定義による気体

- [2-Propanol]: ヒトに関する情報はないが、EHC(1990)、PATTY(1994)のラットでの気管内投与により、24時間以内に心肺停止による死亡が認められており、かつ、動粘性率は概略1.6前後であることから、吸引力呼吸器有害性があると判断し、区分2とした。

## 12. 生態学的情報

## A. 生態毒性

## ○ 魚類

- [2-Propanol]: 魚類(ヒメダカ)の96時間LC50&gt;100mg/L

- [Dimethoxymethane]: 魚類(ファットヘッドミノー)の96時間LC50=6.99×106µg/L

## ○ 甲殻類

- [Gum rosin]: 甲殻類(オオミジンコ)での48時間EC50=4.5mg/L

## ○ 藻類

- [Gum rosin]: 4.5

## B. 残留性と分解性

## ○ 残留性

- データなし

## ○ 分解性

- データなし

### C. 生体蓄積性

- 生体蓄積性
  - データなし
- 生分解性
  - データなし

### D. 土壌中の移動性

- データなし

### E. オゾン層への有害性

- データなし

### F. その他の有害な影響

- [2-Propanol]: 難水溶性でなく (水溶解度=1.00×106mg/L (PHYSPROP Database、2005))、急性毒性が低いことから、区分外とした。
- [Gum rosin]: 急性毒性区分2であり、急速分解性がない (BODによる分解度: 36-46% (IUCLID、2000)) ことから、区分2とした。
- [Dimethoxymethane]: 難水溶性でなく (水溶解度=2.44×105mg/L (PHYSPROP Database、2005))、急性毒性が低いことから、区分外とした。

## 13. 廃棄上の注意

### A. 廃棄方法

- 油と水の分離が可能なのは、油と水の分離方法で事前処理すること。
- 焼却して処理する
- 廃棄物管理法上の規定を遵守すること。

### B. 廃棄上の注意

- データなし

## 14. 輸送上の注意

### A. 国連番号

- 1950

### B. 国連輸送固有名

- Aerosols, flammable, (each not exceeding 1 L capacity)

### C. 輸送危険クラス (ES) :

- 2.1

### D. 包装等級

- データなし

### E. 海洋汚染物質

- 該当なし

### F. 輸送上の特定の安全対策及び条件

- DOTおよびその他の規定により包装または輸送すること。
- 火災時の非常措置の種類: F-D (Flammable gases)
- 流出時の非常措置の種類: S-U (Gases (flammable, toxic or corrosive))

### G. 緊急時応急措置指針(容器イエローカード)番号

- 126

## 15. 適用法令

### A. 日本国内規制事項

- 消防法
  - 第4類第1石油類(非水溶性液体)
  - \* 危険等級
    - II
- 労働安全衛生法
  - \* 有機則

- 第2種有機溶剤 (3 イソプロピルアルコール)

**\* 表示物質**

- 法第57条第1項、施行令第18条第1号 別表9(2の3 イソプロピルアルコール, 482 ブタン, , 563 メチロール, 632 ロジン)

**\* 通知物質**

- 法第57条の2、施行令第18条の2第1号 別表9(494 イソプロピルアルコール, 563 メチロール, 482 ブタン, 632 ロジン)

## B. 他の国内および国際法律情報

○ 残留性有機汚染物質規制法

- 該当なし

○ EU 分類情報

**\* 分類**

- [Butane] : F+; R12

- [Propane] : F+; R12

- [2-Propanol] : F; R11 Xi; R36 R67

- [Gum rosin] : R43

**\* 危険有害性情報**

- [Butane] : R12

- [Propane] : R12

- [2-Propanol] : R11, R36, R67

- [Gum rosin] : R43

**\* 注意書き**

- [Butane] : S2, S9, S16

- [Propane] : S2, S9, S16

- [2-Propanol] : S2, S7, S16, S24/25, S26

- [Gum rosin] : S2, S24, S37

○ 米国の管理情報

**\* OSHA 規定 (29CFR1910.119)**

- 該当なし

**\* CERCLA 103 規制 (40CFR302.4)**

- 該当なし

**\* EPCRA 302 規制 (40CFR355.30)**

- 該当なし

**\* EPCRA 304 規制 (40CFR355.40)**

- 該当なし

**\* EPCRA 313 規制 (40CFR372.65)**

- [2-Propanol] : 該当する

○ ロッテルダム協約物質

- 該当なし

○ スtockホルム協約物質

- 該当なし

○ モントリオール議定書物質

- 該当なし

## 16. その他注意事項

### A. 参考文献

- このSDSはKOSHA、NITE、ESIS、NLM、SIDS、IPCSなどに基づいて作成してある。

- GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) JIS Z 7253

- 危険及び有害性評価は十分ではないので、お取り扱いには十分にご注意ください。

- 本製品安全データシートは当社の製品を適切に使用するために注意する事項を簡単に整理したもので、通常の取り扱いを対象に作成されております。

- ここに記載された内容は現時点で入手出来た情報やメーカー所有の知見に基づいて作成しており、そのデータや評価はいかなる保証をなすものではありません。

- 法令の改訂及び新しい知見により改訂されることがあります。

### B. 作成日

- 2015-12-18

### C. 改訂回数及び最終改訂日

- 1time, 2016-06-01

### D. その他

- この情報は労働者の健康、環境、安全を保護するため、現在使用可能なDBに基づいて作成してある。